

地域医療支援病院  
地域周産期母子医療センター  
地域がん診療連携拠点病院  
専門医療施設(がん/成育/骨・運動器)  
エイズ治療中核拠点病院  
第二次救急医療指定病院  
臨床研修指定病院

# FMC NEWS

FUKUYAMA MEDICAL CENTER

福山医療センターだより

2025 October  
Vol.18 No.10



Instagram

Instagram始めました!  
病院紹介、採用情報を掲載しています。  
是非ご覧ください。



nho\_fukuyama

# 手術支援ロボット DaVinci (ダビンチ) による 手術が300例に達しました。



院長

稲垣 優

## ロボット支援手術300例到達を迎えて

その結果、8月にロボット支援手術300例を達成し、各科とも精力的にロボット支援手術に取り組んでいます。現在まで安全性を第一優先とし、チーム医療を実践してきた成果として大きなトラブルは発生しておらず、管理者として安堵しております。今後は呼吸器外科領域のロボット支援手術も開始予定です。当院の手術支援ロボットの稼働率は100%を超え、全国平均(70%前半)と比較しても有効に手術支援ロボットを活用していることが解ります。

当院は国指定のがん診療連携拠点病院としてがん治療に係る技術の向上と地域のがん診療連携を推進していくことが求められており、手術支援ロボットの導入は質の高い先進的かつ高度な医療を提供していく体制の一助となり、引き続き、地域の皆様、そして医療機関へ最新の医療を提供して参ります。また、当院でロボット手術の手法を若手外科医に教育する環境を整備し、育成することにより、この地域に還元できるものと考えています。

是非、適応疾患に関し、関連医療機関からのご紹介、また、患者様のお問い合わせを含め、お待ちしておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年11月に当院に待望の手術支援ロボットdaVinci Xiを導入し、12月から泌尿器科の前立腺全摘手術より開始しました。現在は膀胱全摘、腎盂形成術、仙骨腫固定術、腎摘術、腎尿管全摘術、腎部分切除の7手術手技に拡大し、2025年8月までに260例を超える手術を施行しました。

また、消化器外科領域にも拡大し、2024年8月より直腸に対するロボット支援手術を開始し、2025年4月には岡山大学消化器外科学教室より大腸ロボット支援手術のエキスパートである寺石文則講師が当院に赴任し、6月より結腸に対するロボット支援手術を開始しました。8月までに直腸、結腸を合わせて38例の症例に対し、ロボット支援手術を行いました。肝胆膵外科領域では2024年9月より肝臓疾患に対する肝部分切除術を開始し、今年8月よりは膵臓疾患に対する膵体尾部切除術も導入しました。





低侵襲治療センター長(統括診療部長)

## 寺石 文則

このたび当院におけるロボット支援手術が、導入からわずか21か月で通算300例に到達いたしました。泌尿器科の先生方が早期から積み重ねてこられた実績を礎に、大腸領域でも急速に症例を重ねることができ、心から感謝申し上げます。立ち上げ当初より温かく支えてくださった患者さん、地域の先生方、そしてチーム医療を共に担うスタッフの皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

ロボット手術は、従来の腹腔鏡手術をさらに発展させた「低侵襲(体にやさしい)」治療です。高解像度の3D映像と手ぶれ補正を備えた鉗子により、細かな操作を安定して行うことができ、骨盤深部のような狭い場所での大腸がん手術に特に力を発揮します。その結果、出血量の低減や術後の回復の早さといった短期成績だけでなく、再発率の低減などの利点が報告されており、患者さんにとってはより安心・安全な治療の選択肢となります。

当院には、備後地域で唯一、大腸領域における「ロボット手術プロクター(指導医)」が在籍しています。これは、全国的にも限られた経験豊富な外科医に与えられる資格であり、手術の質を担保するだけでなく、次世代を担う外科医の育成にも貢献できる体制です。私たちは「患者さんに最良の医療を届ける」と同時に「若い外科医を育てる」ことも使命と考えています。

これまでの300例という数字は、単なる通過点にすぎません。大切なのは、一例一例の患者さんに真摯に向き合い、安全を最優先に治療を積み重ねていくことです。今後も最新の知見を取り入れながら、合併症を防ぎ、術後の生活の質を高めることに取り組んでまいります。

地域の皆様にとって「高度な医療を身近で受けられる病院」であり続けること。そして、医療従事者にとって「学び合い、成長できる場」であること。これが私たち低侵襲治療センターの目指す姿です。これからも、患者さんご家族に寄り添いながら、安全で質の高いロボット支援手術を提供し、地域医療の発展に一層貢献してまいります。



泌尿器科診療部長

## 長谷川 泰久

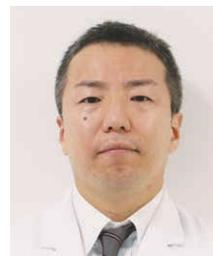
ロボット手術導入から21カ月で早くも300症例に達しました。院内一丸となって進めてきた結果ではありますが、なにより導入当初より当院を信頼して治療を受けてくださった沢山の患者様に感謝いたします。

思えば岩垣博巳前院長のころから切望していたロボット導入が、再び本格的に動き出したのが2022年頃、翌2023年初頭には導入決定の連絡、慌ただしく2月7日の東京の国立病院機構本部での2機種の実機体験、意見

集約を経て、ダビンチXiに機種が決まったように記憶しています。4月に事務方、臨床工学士、手術部看護師、医師で構成されるロボット手術導入ワーキンググループを立ち上げ、様々な準備やシミュレーションを繰り返し行い、11月に院内に実機が搬入、12月11日に当院でのロボット手術第一例(前立腺がん手術)が開始となりました。

以降は順調に症例を重ね、術式の適応拡大も積極的に行い、泌尿器科で行ってきたほとんどの腹腔鏡手術はすみやかにダビンチXiを使用したロボット支援下腹腔鏡手術へと変わりました。長年、手作業の腹腔鏡手術を頑張ってきましたが、「より細部に、より遠くに、より繊細に」といった思いが常にありました。ダビンチXiは、術者が求める「より」に近づけてくれる優れた道具とすぐに実感することができました。ワーキンググループのちにロボット手術運営委員会に発展し、外科系各科の安全なロボット運用に寄与しています。

今回ロボット手術導入という経験を経て、稲垣院長のリーダシップのもと院内のほぼすべての職種が一体感を持って淡々と任務を遂行し、小さなことの積み重ねが組織のダイナミズムを生み、結果として大きな成果を得る過程を目の当たりにすることができました。本当に貴重な体験でした。同僚や麻酔科の先生方、外来、病棟、臨床工学士、手術室といった直接手術に関係する仲間たちはもちろん、導入前の嘆願から現在に至るまでの事務処理、広報活動、倫理審査、雑事をいろいろとお願いした医局秘書の皆様など、関係者を挙げればきりがありません、すべての院内の皆様へ深謝します。連携医療機関の先生方も大切な患者様のご紹介、いつもありがとうございます。引き続き安全、良質な医療を追求し続けてまいります、これからもどうかよろしくお願いいたします。



肝胆膵外科医長

## 内海 方嗣

このたび、当院でのダビンチXiによるロボット支援手術が300例に達しました。2023年12月に泌尿器科で導入後、外科領域では2024年8月から直腸切除、肝切除、2025年8月からは膵切除と高度な手術にロボット技術を活用し、着実に症例を積み重ねてきました。

肝胆膵外科は、解剖が複雑で技術的にも難易度が高く、ロボット手術の導入には慎重な準備とチームの連携が不可欠です。現在では肝部分切除や膵体尾部切除を中心に、安全性と精度を両立したロボット手術が可能となり、今後は肝亜区域切除や脾動脈温存膵体尾部切除術など、より複雑な手術へ適応を広げていく予定です。

この300例達成は、院長をはじめとする病院全体のご理解とご支援、そして麻酔科、看護師、臨床工学技士、事務職員など、すべてのスタッフの協力があってこそ成し得たものです。関係各位に改めて感謝申し上げます。また術前・術中・術後にわたる多職種の連携が、患者さんにとって最良の医療を提供する礎となっています。今後も、患者さんにとって安心・安全で質の高い医療を提供できるよう、技術の研鑽とチーム医療の強化に努めてまいります。引き続きご指導・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



麻酔科診療部長

友塚 直人

このたび、当院でのダヴィンチ手術が通算300例に到達いたしました。これもひとえに、外科医を中心とした多職種の皆さまのご尽力のおかげと、心より感謝申し上げます。ロボット支援手術は従来の開腹手術や腹腔鏡手術とは異なり、特有の体位や呼吸・循環動態への影響が大きく、麻酔管理にも新しい視点や工夫が求められます。今日まで一例も大きな事故なく積み重ねてこられたことは、麻酔科医としても本当に嬉しく、誇らしく思います。

振り返れば、導入当初は手術室にとっても未知の領域であり、私自身も麻酔科医として新たな挑戦を前に緊張と期待が入り混じっておりました。そのような中で、看護師さんや臨床工学技士さんが中心となり、環境整備や器械の準備、トラブルシューティングに奔走してくださったことが、今日の実績へとつながっています。立ち上げの時期に共に汗を流した仲間の姿を、今でも鮮明に思い出します。

多くのスタッフの協力なくして、この300例の積み重ねは実現できなかったと思います。患者さんにとって「安全で安心な手術」を提供できるのは、まさにチーム全体が一つとなって取り組んでいるからこそです。300例という数字は一つの節目ではありますが、私たちにとってはあくまで通過点です。これまで培ってきた経験を礎に、今後もより質の高い周術期管理を目指し、500例、1000例へと歩みを進めてまいりたいと思います。



手術室看護師長

高岡 佐奈美

2023年、ロボット支援手術の導入が決定され、手術室看護師もワーキングメンバーの一員として参加しました。当初はすべての看護師がダヴィンチを知らないため、どのように運用していくか想像することも困難

でした。ワーキングメンバーである泌尿器科チームの看護師は、医師、臨床工学技士とともに実際にダヴィンチ手術を行っている施設へ複数回見学に行かせていただき、機器のセットアップやそれにとりま物品の準備、環境調整について学び、スタッフトレーニング計画や手順の作成を同時に進めました。その後、実際にシミュレーションを重ねて、手術室内の各機器の配置、患者さんの体位固定方法、追加物品等の調整を行いました。そのような中で、担当したワーキングメンバーは少しずつイメージが図れ、他の手術室看護師たちへ学んだ要点を共有するために何度も勉強会を開催し、図や写真を取り入れた、わかりやすい手順書を作成するなど工夫しました。一方で他の手術室看護師たちは勉強会資料に加え、動画等でイメージトレーニングを重ねていきました。さらにシミュレーションでは実際に物品配置を行い、自分たちが患者役となり手術台の上で手術体位を取りな

がら、患者さんにとって安全な体位について意見交換を行い、圧迫感やつらさ等はないか評価しました。

2024年より外科領域の手術も対象となり、外科チームの看護師も準備に加わりました。当院では新たな術式の導入においては、必ず多職種合同によるシミュレーションを行なっています。医師、臨床工学技士とディスカッションしながら、手術室内の機器、物品配置や手術介助技術について全看護師が活用できる手順書を作成し、定期的に見直しも行っています。このような医療チーム全体での取り組みが看護師一人ひとりの成長につながり、今日までの計画的な手術運営につながっていると思います。特に手術介助技術については看護師個々が自己学習を重ね、手順を確認して手術に臨んでいますが、正確に習得できるまでは、習熟した看護師が丁寧にサポートに入り、手順書には書ききれないコツなども伝授し、患者さんに安心して手術を受けていただけるよう努力しています。

現在、ロボット支援手術を受ける患者さんには、周手術期管理チーム(PERIO)が介入させていただいています。最近では患者さんもロボット支援手術についての情報を把握されており、合併症が少ない「患者さんにやさしい」ロボット支援手術は今後もますますニーズが高まってくると思われます。ロボット支援手術のある福山医療センターを選んだと患者さんに言っていただけるよう、また安全で安心できる手術看護が提供できるよう日々精進してまいります。



ロボット支援手術中です。



シミュレーション風景

# 【急性腹症】

## について講演させていただきました。



国立病院機構福山医療センター  
救急部長

徳永 尚之

この度松永沼隈地区医師会からのご依頼もあり、救急法等講習会で【急性腹症の診断と治療】という演題で講演をさせていただきましたので御礼もかねてご報告させていただきます。この救急法等講習会というのは毎年松永沼隈地区医師会主催で【9月9日：救急の日】にちなんで開催されている講習会で、本年は9月11日(木)に行われました。救急隊を交えた心肺蘇生の実技演習が主体の会でしたが、その演習の前に約1時間ほどかけて毎年トピックスを決めて講演を依頼しているとのことで、今年は腹部救急についての講演をとのご依頼が当院にあり救急部長の私に白羽の矢がたったという次第でした。とはいえ私は救急専門医ではなく消化器外科医(肝胆膵)ですのでこれまで1時間の救急関係での講演などしたこともなく、また参加者も医師以外の医療関係者(介護職や看護職)や一般市民が主体という事前情報から、どの程度の内容をどのくらい話すべきか判断が非常に難しく準備もなかなか思い通りには進みませんでした。そうはいっても期限は待ってくれないのでとりあえず足りなくなるぐらいなら余った方がいいだろうと思い、スライドは多めに作成して当日に臨むこととしました。

会場は松永沼隈地区医師会保健福祉センターで、開始30分ほど前に到着し講演スライドの映写準備等を進め15分ほどの余裕ができたところで、救急担当理事をされておられる宮地康夫先生・杉原正大先生、医師会会長の木村俊治先生にご挨拶をさせて頂くという流れとなりました。聴衆は約40名程度で予定通りの時間に講演は開始となり、まずは会長の木村先生のご挨拶、次いで座長をお努め頂いた宮地先生からの過分なるご紹介を頂いた後に私の講演がstartしました。私の講演は全体的には2部構成で、前半は総論・後半は各論(消化管穿孔・消化管出血・虚血性腸疾患・腸閉塞・急性胆管炎/胆嚢炎・急性膵炎)として準備はしておりました。総論と各論の間に気分転換として当院の腹部救急疾患の受入状況や代表的疾患などについても挟んでいましたが、前述したように全ては説明できないだろうなと思っていました。それでも各論の半分ぐらいは進みたいと思って開始しましたが、参加者が医師ではない方が多いという意識が前面に立ち思いの外一つ一つがゆっくりとした丁寧な説明となってしまいました。結果として各論

は思った以上に進まず準備したスライドも結局日の目を見ないものが多くなってしまいました。私個人としては総論と当院の緊急手術状況・さらに最も代表的な疾患である消化管穿孔からの汎発性腹膜炎がSIRS・敗血症性ショック・DICを経てMOF(多臓器不全)に至る経路についてはご説明できたので、最低限のところまでは到達したかなと思っております。最初に本日はこのような順番で進めるとアナウンスしてしまったので物足りない印象を持ってしまった方もおられたかと思いますが、なんとか解りやすくお伝えしようと私なりに努力した結果ですので暖かく受け入れて頂けるとありがたいです。このような内容でしたが杉原先生からご質問も頂戴し無事?私の講演は終了となりました。余ったスライドは折角作ったので研修医の教育資料として再利用したいと思います。

以上、簡単ではありますが私の講演報告を終わらせていただきます。最後になりましたがこのような貴重な機会を与えていただいた松永沼隈地区医師会の木村俊治先生、宮地康夫先生、杉原正大先生、さらには事前・当日準備等にご尽力いただいた医師会関係者の皆様方に重ねて厚く御礼申し上げます。ご期待に応えられる講演ができた自信はありませんが何卒ご容赦ください。松永沼隈地区を含めた当圏域の救急医療の充実・発展のためにお互いの協力体制をより強固なものにできればと願っておりますので、今後とも宜しくご指導の程お願い申し上げます。



# 学会報告

## 第64回 日本小児外科学会中国四国地方会

令和7年9月13日(土)、福山医療センター4階大研修室において、第64回日本小児外科学会中国四国地方会が開催されました。本地方会は、福山医療センター小児外科が主幹を務め、会長は当科責任者の阪龍太医師が務めました。参加者は中国四国地方の小児外科医を中心に37名が集い、21題の演題発表が行われました。当院大研修室は十分な広さと設備を備え、音響機器やレーザーポインター、発表時間管理用の呼び鈴まで整っており、地方会の開催会場としても申し分のない環境であることを示す機会となりました。

小児外科学会中四国地方会は、日常診療に直結する症例をもとに活発な議論を交わすとともに、若手医師の登竜門としての役割を果たしてきました。今回も同様に、若手からベテランまで幅広い世代の医師が参加し、症例検討や研究発表を通じて知見を深めました。演題発表の後には活発な質疑応答が行われ、診療上の細かな工夫や合併症への対応など、教科書だけでは学べない実践的な知識が共有されました。当院の岩崎医師は今回初めて座長を経験し、円滑な進行を担いました。若手医師が座長を経験することは、自らの学びだけでなく、次世代の小児外科を担う人材育成という点でも大きな意味を持っています。

さらに、当院小児消化器科で非常勤として長年来外診療を支えていただいている近畿大学奈良病院小児科の近藤宏樹准教授をお招きし、「新生児・乳児の胆汁うっ滞症と診療支援ネットワークについて」と題する特別講演をいただきました。胆汁うっ滞症は診断や治療に高度な専門性が求められる疾患であり、診療支援ネットワーク構築の重要性を再確認する機会となりました。参加者から



学会長として堂々と挨拶される阪龍太医師。  
 沖縄で異動前の最後の大事な仕事となり、感慨深い一幕でした。

も多くの質問が寄せられ、地域間での情報共有や患者紹介体制の強化に向けた議論が深まりました。

中国四国地方は全国的に見ても小児外科医の数が限られており、日本小児外科学会による認定施設は当院を含めてわずか8施設にすぎません。したがって、地方会における学術交流や情報交換はきわめて貴重です。今回の主題は「腸管不全」でした。栄養管理の進歩やGLP-2製剤の登場によって予後が改善しつつあるものの、依然として症例数が少なく、画一的な診療指針を確立するのが難しい領域です。当院岩崎医師による症例報告を含め、計5題が腸管不全をテーマに取り上げられ、各施設の工夫や課題が共有されました。少数例であっても積み重ね、互いに学び合うことの大切さが改めて示されました。

プログラム	
<b>開会の挨拶</b>	9:00~9:05 阪 龍太(福山医療センター 小児外科)
<b>一般演題： 腹部</b>	9:05~9:55
1) 穿孔のない小腸潰瘍の1例手術介入の適応と時期の検討	吉田 篤史(川崎医科大学 小児外科)
2) 誤ヘルニア様治療の際、偶発的に発見した脾血管造影の1例	平塚 慧(東立広島病院 小児外科)
3) 十二指腸前門脈を合併した胆道閉鎖症の1例	花木 祥二朗(倉敷中央病院 外科・小児外科)
4) 胆道閉鎖症との鑑別に十二指腸造影検査が有用であった Dubin-Johnson syndrome の1例	桐原 隆太(愛媛大学大学院医学系研究科 消化管・腫瘍外科)
5) Ⅲb型が強く疑われながらも保存的に軽快を得た胆道閉鎖の1例	高野 剛一(鳥取大学医学部 消化器・小児外科学分野)
<b>主題： 腸管不全</b>	10:00~10:50
6) 腸管不全症例3例の当院における治療経験	岩崎 駿(福山医療センター 小児外科)
7) 腸閉塞の回腸捻転症に伴う腸管不全の1例	藤原 誠(広島大学病院 小児外科)

8) 巨大膀胱短小腸腸管運動不全症の1例	船橋 功匡(岡山医療センター 小児外科)
9) 慢性特異性慢性腸閉塞症の1例	高田 知佳(岡山医療センター 小児外科)
10) 在宅中心静脈栄養管理の際の脂肪製剤投与方法-月1回の外来未精静脈投与による管理	大津 一弘(東立広島病院 小児外科)
<b>特別講演</b>	11:00~11:40
<b>新生児・乳児の胆汁うっ滞症と診療支援ネットワークについて</b>	近藤 宏樹(近畿大学奈良病院 小児科 准教授)
<b>昼食</b>	11:40~12:00
<b>昼休憩</b>	12:00~13:30
<b>一般演題： 胸部</b>	13:30~14:20
11) 治療に難渋した新生児気胸の2例	佐伯 直(鳥取大学病院 小児外科)
12) 新生児葉性肺動脈閉鎖に対して外科的ドレナージを施行した1例	山道 拓(福山医療センター 小児外科)
13) 胸壁下異常血管結紮術を施行した右肺動脈大動脈起源症の1例	宮田 豪(鳥取大学医学部附属病院 消化器・総合外科)

14) 先天性食道閉鎖症術後の先天性食道狭窄症に対して胸壁下根治療を施行した1例	谷本 光隆(岡山大学病院 小児外科)
15) 胃管挿入時に梨状窩穿孔をきたしたと思われる超低出生体重児の1例	畑中 良太(倉敷中央病院 外科・小児外科)
<b>一般演題： 泌尿器・救急・医学教育・漢方</b>	14:20~15:20
16) 小児原腸奇形における抗菌薬投与とアレルギー疾患の関連	藤井 尚之(香川大学 医学部 小児外科学)
17) 外置型ヘルニアの手術中に腹腔内瘻管を認めた2例	山本 晃久(鳥取大学医学部 消化器・小児外科学分野)
18) LPEO を契機に Mayer-Rokitansky-Kuster-Hausner(MRKH)症候群の診断に至った1例	堂甲 崇人(四国こどもとおとなの医療センター 小児外科)
19) 未来の小児外科医療成否? "VR しんさつ" 体験	佐伯 勇(広島大学病院 小児外科)
20) 無症候性の軽微な腸管内異物に対して腹腔鏡補助下異物摘出術をおこなった1例	黒田 征加(鳥取県立中央病院 小児外科)
21) Kasabach-Merritt 現象を伴うカポジ肉腫様血管内皮腫1例に対し、経腭加水温が有効だった1例	小川 基平(広島大学病院 漢方診療センター)
<b>閉会の挨拶</b>	15:20~15:25
	阪 龍太(福山医療センター 小児外科)

当日のプログラム。多彩な演題とともに、実りある学びと交流の一日となりました。

# を開催しました。



小児外科・小児泌尿器科 医長  
山道 拓

また、地方会では腹部疾患や胸部疾患、新生児外科、泌尿器疾患、救急医療、さらには医学教育や漢方に関する発表まで、多岐にわたる分野が取り上げられました。日常診療の延長線上にある症例から、先進的な治療法の紹介、教育的取り組みまで幅広い内容が含まれており、参加者にとって多角的な学びの場となりました。

今回の運営にあたっては、当科スタッフのみならず院内の多くの協力をいただきました。特に、手術室の青田看護師、梅本看護師、先納看護師が受付や会場設営を担当し、スムーズな進行に大きく貢献してくださいました。当科からは阪医長が学会長を務めたほか、岩崎医師と山道が座長を担当し、それぞれ当院症例の報告も行いました。学術面と運営面の双方において当科が積極的に関わることで、地域の小児外科診療と若手育成に貢献できたものと考えています。

会の途中では施設の非常点検に伴う一時的な音響トラブルが生じましたが、迅速に対応し大きな混乱なく会を継続することができました。これも院内スタッフの協力体制のおかげであり、心より感謝申し上げます。原因は院内の設備点検に伴う大研修室の一時的なトラブルであることが判明しました。今後、当院で休日に学会等を開催する際には、事前に管理課職員係長へ確認いただければ幸いです。さらに前日には、世話人会と懇親会が市内の『広島県民文化センターふくやま』および『炉 うろこや』で行われ、参加者同士の交流がますます深まりました。診療や研究の枠を超えた交流は、地域医療を支えるうえで欠かせない要素です。こうした温かな交流の場こそ、地方会の大きな魅力のひとつといえるでしょう。

今回の開催は、阪医長が沖縄に異動される前の最後の大事な仕事でもあり、私たちスタッフにとっても感慨深いものがありました。地方会の成功は、阪医長のこれまでのご尽力、そして院内外の多大な協力の賜物です。今後も当科は、地方会を通じて得られた最新の小児外科医療を地域に還元し、近隣医療機関と連携しながら地域の小児医療を支えていく所存です。最後に、本地方会の開催にご尽力いただいたすべての方々へ心より感謝申し上げます。



近藤宏樹准教授による特別講演。熱心に耳を傾ける参加者の姿が印象的でした。



山道の発表と質疑応答。会場全体が真剣な空気に包まれました。



学会長の阪医長を中心に並んだ当院スタッフ。互いに支え合い、学会を無事に終えることができました。

2025  
11/1 土

受付:13:30~

講演:14:00~16:20

福山医療センター4階大研修室

特別講師 中国労災病院 小児科部長

小西 央郎 先生

PROGRAM

【第1部】

■座 長:山下 定儀 福山医療センター 小児科医長

■進 行:木梨 貴博 医療福祉相談係長

14:00 開会挨拶:稲垣 優 福山医療センター院長

14:05 福山市ネウボラ推進課からの報告

14:10 広島県東部こども家庭センターからの報告

14:15 特別講演 60分

小西 央郎先生 中国労災病院 小児科部長

15:15 質疑応答

15:20 休 憩

【第2部】

■座 長:小西 央郎先生 中国労災病院 小児科部長

15:30 特別演目 40分:ロールプレイ、シンポジウム  
(仮)「児童虐待が考えられる場面での通告の実際」

16:10 質疑応答

16:15 閉会挨拶:荒木 徹 福山医療センター 小児科診療部長

■保健師・看護師・栄養士による無料育児相談あります。

13:00~13:30 保健師・看護師・栄養士による無料育児相談

16:20~16:50 保健師・看護師・栄養士による無料育児相談

入場無料

定員200名

事前申込み・当日参加  
いずれも可

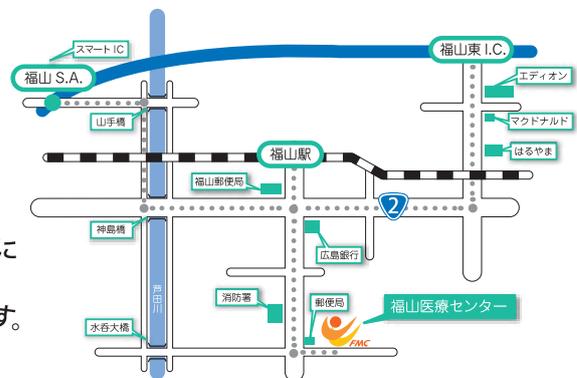


お子様と一緒に  
聴講して頂けます。

◆事前申し込みは、下記の代表電話番号にご連絡下さい。

子どもたちが安心して過ごさせる  
社会を目指して  
児童虐待0を実現するために

市民公開講座 2025



※駐車場の台数に限りがございます。お乗り合わせの上で来場ください。  
満車の場合は他の駐車場をご利用ください。



独立行政法人 国立病院機構

福山医療センター

National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

主催:福山医療センター

〒720-8520 広島県福山市沖野上町4丁目14-17

Tel(084)922-0001(代) FAX(084)931-3969

<https://fukuyama.hosp.go.jp/>

事務局

福山医療センター 市民公開講座事務局  
担当/中川



# 面白い生物の世界 と クラシック音楽

臨床検査科 特別診療役  
長谷川 利路



前回、すべての生物は、DNAによってプログラムされた遺伝情報を「セントラルドグマ」に従って子孫に伝えるという「共通性」とともに、現在175万-190万種ある生物種の一つひとつが異なるという「多様性」を同時に兼ね備えており、この2つは相反する性質と考えられますが、これには「進化」が大きくかかわっていることを述べました。

## 「進化生物学」

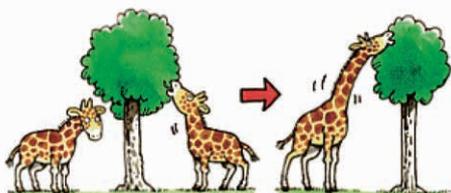
この「多様性」と「共通性」を統合的に理解するのが、進化生物学です。根底には現在みられる多種多様な生物が、もともとは同一の祖先に由来しており、そこから分かれて進化してきたという原則があり、これにより極めて多様でありながら根本は共通であることが容易に理解できます。

まず「多様性」については分類学により生物の種類を明確にし、それらが生態系の中でどのように存在するのかを生態学的に解明します。「共通性」については、分子生物学、生化学、ゲノム科学などを駆使して、一見異なって見える様々な生物は、すべて細胞という単位から出来ており、DNAである遺伝子、酵素たんぱく質が化学反応の触媒などを行い、生命活動が営まれることを明らかにします。

## 「ダーウインの自然選択説」

1859年ダーウインは著書「種の起源」において「自然選択説」を唱えました。生物の性質に個体ごとに違いがあること(変異)、その性質によって生き延びて子孫を残せる確率に違いがあること(選択)、そのような性質は多かれ少なかれ子孫に伝えられること(遺伝)の3つの概念から成り立っています。つまり、生存や繁殖に適した遺伝的な性質(病気に強い、栄養の獲得能力が高い、捕食されにくい、繁殖しやすい等)を持つ個体がその突然変異を次世代に伝達する、これが何世代も続くと生存や繁殖に有利な突然変異の遺伝情報と性質が集団中に広まり、自然が生き残れる種を選んでいるかのように見えるということです。

1つの例を挙げますと、キリンの首が長くなったのは高い所にある植物の葉を摂るために首の長いキリンの種類が生き残ったと以前から考えられていました。これに対して最近中国科学院のグループがキリンの祖先の化石を調べたところ、頸椎の構造が非常に複雑で激しくぶつかり合う頭部への衝撃を和らげるために効果的であったと報告しました。オスがメスを巡って頭や首をぶつけあって(ネッキング)ライバルを撃退したり求愛行動を行うこととなり、メスは長く太い首のオスを選び、その形質が子孫に受け継がれ、同時に環境変化によって首が長く背が高いことで競合と草を争うことを回避し、生存にも有利に働くようになり、キリンの首が長くなっていったと考えられています(Science, 2022)。いずれにしても長い年月をかけて、自然選択、性的選択の圧力を受けて多くの世代を経て現在の形態に至ったわけで、遺伝する変異が進化の原材料となり、それらを自然選択が拾い上げていくことにより、生物の驚くべき巧妙な形態や構造、機能が作り上げられてきたということです。



以前は高い所の葉を食べやすい長い首を持つキリンが生き残ったとされていたが、化石からの最近の研究では首が長く太くなる頸椎を持つように進化したキリンがライバル撃退、求愛行動に有利であったことが示された(Science2022より引用)。

生物学で扱う「進化」とは、一般に使われているような本来目的を持って変わるものではなく、自然や環境に対して生存してきた個体群の形態における「結果」であるもので、色んなものが突然変異的に作られるのですが、そのうち環境に適するものだけが偶然に生き残り、生存や生殖に不利な遺伝子を持った個体が除去されたという考えで、最初からこれを作ろうとして作ったものではないわけです。また進化は環境に適するように変化したというだけでは、常に向上的に働くものではなく、暗い所に順応して目が見えなくなった「モグラ」は「退化」したことにほかなりませんが、これも進化のうちに含まれるのです。

## 「分子生物学による分子進化の中立説」

他にも色んな進化の方法があり、種の壁を越えて全く異なる進化の途を認めてきた遺伝子や細胞を取り込む(内部共生)ことによって新たな機能を獲得したり、他の生物やウイルスの遺伝情報のみを獲得する(遺伝子水平転移)ことが進化の原動力となる場合もあります。

また、上述したように分子生物学的手法でDNAのわずかな突然変異でも見つけることが可能となり、実際には分子レベルでの変異が多く起こっていますが、多くの場合外見や性質の違いや生存や繁殖に影響を与えないことが観察されています。突然変異が集団に広まるか消失するかには規則性が無く、偶然(遺伝的浮動)に左右されることが、日本人の「木村資生」国立遺伝学研究所教授によって示されたのです(1968年科学雑誌Natureに発表)。これを「中立進化説」と言いますが、分かりやすく言うとダーウインの「適者生存」だけでなく、生存に有利でも不利でもない中立的な変化、つまりたまたま幸運に恵まれたものも残っていくという学説で、当初多くの批判を浴びたようですが、その後広く認められ、現代進化学の1つとされています。

## 「大阪万博」とクラシック音楽

「大阪・関西万博」はいよいよ終わりに近づいていますが、皆さんは行かれましたか?私は帰宅困難者が多数発生した日の翌日に行く予定にしていたのですが、こんな時に行くのは良くないと断念しました。一度は行きたいとは思っていますが、1970年に吹田市で行われた前回の万博の印象が強烈過ぎて、あまり食指が動かないというのが実際のところ。三波春夫さんの

「こんにちは〜。こんにちは〜世界の国から」に乗せて超満員の大阪でしたが、クラシック音楽界ではカラヤン=ベルリンフィル、ジョージ・セル=クリーブランド管弦楽団、バーンスタイン=ニューヨークフィル、セルジュ・ポド=パリ管、ムラヴィンスキー=レニングラードフィル、ベルリンドイツオペラ、ポリショイ劇場オペラ等、煌めくような楽団が大阪に来ていました。またドイツ館などではシュトックハウゼン作曲の現代音楽が流れてましたが、当時はあまり人気が無かったためガラガラでした。

## 映画「国宝」と「歌舞伎」の世界

このように今年の夏は万博には行けなかったのですが、この夏大ヒットした映画「国宝」を観ましたし、その後小説でも読みました。この話をネタバラシしない程度に紹介すると、芸の世界における「世襲制」や「実力」に裏打ちされる人気とプレッシャーなど、いくつかテーマがあります。が、作者が表現したかったことは、文章中にあった「女形というのは、男が女を真似るのではなく、男がいったん女に化けて、その女をも脱ぎ去ったあとに残る形である」という芸術性であったような気がします。宝塚歌劇団の男役の女優さんと同じ範疇かと想像されますが、私自身あまりよく分かっていません。ただ、主人公はゲーテのファウスト博士のように「悪魔と取引して芸のためには他のものは何も要らない」として、芸の道に究め最後に辿り着かれた境地が最も強調したかったことと思いますが、いずれにしても観る人読む人をそれぞれ感動させると思います。

「国宝」を読んだ後、重要無形文化財保持者、いわゆる「人間国宝」である坂東玉三郎「京鹿子娘道成寺」「楊貴妃」などをDVDに保存していたので、少しずつ鑑賞しており「歌舞伎」のことにかなり興味がわきました。「能」はいつか観たことがあり日本語なんですけど文語なので意味をつかめず、オペラでは字幕に頼れます。一方「歌舞伎」の方はまだ口語に近いので意味が分かり、高額な「子守歌」にはならず今後ほまっていけそうな予感がします。

NHK交響楽団首席指揮者ファビオロージ氏は「音楽は感じ取るものであり、言葉で説明したら台無しになる。音楽はとても感情的なもので言葉が介入する余地はない。音楽にのみ没入し湧き出た感情に身を委ねる。その感情がどのようによりて生まれたのか説明などできない。」としており、現代音楽、オペラ、歌舞伎・能に関係なく、細かい技術面を解説・批判することなどは邪道であり、すぐれた芸術は共通した性質を持つものと思われれます。



小説「国宝」表紙(朝日文庫)

# いろんなテーマでつぶやきます 外科医のひとりごと

## Vol.71 「酸素の話」



福山医療センター  
院長補佐  
**大塚 眞哉**

プロフィール  
1990年岡山大学医学部卒、医学博士。岡山済生会病院、岡山大学などを経て99年から福山医療センター外科勤務。専門は消化器外科、特に胃がん大腸がん外科。岡山大学医学部臨床教授、日本内視鏡外科学会評議員で、ESMO(欧州臨床腫瘍学会)などに所属。座右の銘は山本五十六の「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」。

### さまざまな役割

10月13日は「スポーツの日」です。1964年の東京オリンピック開会式の日に由来する「体育の日」を起源としています。有酸素運動を含むスポーツは健康増進に有益ですが、太古の地球には酸素がほとんどなく、むしろ生物にとって酸素は猛毒でした。

その後、約三〇億年前に海中に現れたシアノバクテリアという藻類が光合成によって大量に酸素を発生させ、多くの生物が死滅しました。しかし、一部の生物は酸素が少ない地中深くに潜って生き延び、現在では嫌気性菌のポツリヌス菌や破

傷風菌などとして、感染症の原因となっています。

### 【ミトコンドリアの不思議】

一方で好気性菌という、酸素を使ってたくさんエネルギーを作り出すことができる生物も出現しました。現在酸素呼吸している生命体は、この生物が取り込まれて細胞内に住み着き、ミトコンドリアになることで生き延びたと考えられています(細胞内共生説)。

ゆえに「ミトコンドリアのADNAには、宿主とは違うDNAが脈々と受け継がれている」という不思議なことになっています。またミトコンドリアは卵子からのDNAだけ受け継ぎ、精子からは受け継がないため、通常のDNA鑑定では親子関係が分かりますが、ミトコンドリアによるDNA鑑定では母子関係しか分かりません。

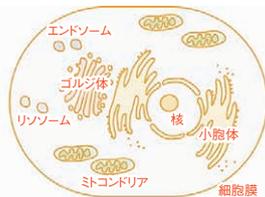
### 【抗酸化物質とは?】

呼吸で取り込んだ酸素の90%以上は細胞内のミトコ

ンドリアに取り込まれ、生存のためのエネルギー(ATP)が生成されます。その過程で0・1〜2%の活性酸素が産生されます。活性酸素には病原体を処理したり貪食する機能がありますが、過剰になると老化、がん、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病などの原因になります。

活性酸素を減らすためには禁煙、節酒、運動、睡眠などが有用とされています。抗酸化物質にはポリフェノール(赤ワインやブルーベリー)に多いが飲み過ぎには注意、カテキン(緑茶)、セサミン(ゴマ)、βカロチン(緑黄色野菜)、リコピン(トマト、果物)、ビタミンC・Eなどがあります。

野菜や果物が体に良いのは納得ですが、アスタキサンチンが多く含まれるエビやカニ、サケ、イクラ(塩分や脂質が多いので過剰摂



【細胞の構造】

昏睡も引き起こすので危険です。われわれも人工呼吸器の使用中は、過剰な酸素投与にならないように気を付けています。

取に注意)などの赤い海産物も有用です。

### 【低酸素と酸素中毒】

心肺停止などによって低酸素血症を起こすと、臓器が障害を受けます。一番ダメージを受けるのは脳で、五分以上心肺停止すると救命できても重大な脳障害を来すことがあります。心肺停止時も心臓マッサージにより脳に血液を送り続けることが重要となります。

高気圧酸素療法は潜水病や突発性難聴の治療、アスリートの疲労回復に有効ですが、「酸素は多いほどいい」というのは誤解です。過剰な酸素投与は、「酸素中毒」といって嘔吐・めまい・視野狭窄のほか、痙攣発作や

訪問診療部 部長  
歯科医師

猪原 光

## 認知症の方の「食べる」を守るために

「最近、口に入れても飲み込まないんです」「ごはんを食べながら途中で止まってしまうんです」訪問歯科診療でご自宅にお伺いすると、認知症の方を介護しているご家族から、よくそんな声を聞きます。

認知症の進行とともに、「食べる」という行為そのものが少しずつ難しくなっていくことがあります。食べることは、ただ噛んで飲み込むだけではありません。

食べ物を見て「食べ物だ」と理解し、手を動かして口に運び、噛んでまとめて飲み込む——。この一連の流れには、脳の理解力、注意力、そしてたくさんの筋肉の連携が関わっています。認知症になると、この「順序の理解」や「注意を続ける力」が弱まり、口に入れても次の動作につながらない、あるいは口の中にためたまま止まってしまうことがあります。

さらに、病気の進行とともに、舌や喉の動きが弱くなり、飲み込みづらさが加わります。むせやすくなったり、食べるのに時間がかかったり、少しずつ食事量が減っていくこともあります。こうした変化は「歳のせい」と見過ごされがちですが、誤嚥(ごえん)や低栄養のサインかもしれません。認知症の方の食事には、いくつかの特徴的な変化が現れます。

たとえば、食べ物以外のものを口にしてしまう「異食」。これは、目の前の物が食べ物かどうか分からなくなってしまうことによるものです。また、「もう食べたのに何度も食べようとする」「満腹になっても食べ続ける」といった過食が見られることもあります。逆に、食事を拒む「拒食」のような行動も起きます。味覚や嗅覚の変化から、以前は好まなかった甘い味や濃い味を好むようになる方もいます。

こうした変化には、本人の記憶や感覚の混乱が関係しています。

「見た目」や「匂い」、「色合い」が分かりにくくなり、食事そのものが不安や混乱のきっかけになるのです。そのため、食べものの形・色・食器の工夫がとても大切です。食べ物が見やすいように暖色系の食器を使う、味や香りをはっきり感じられるように少し濃いめに味付けするなど、環境や調理の工夫が必要な場合もあります。

また、落ち着いて食べられる環境も欠かせません。食卓の上を整理し、テレビを消して、「温かいごはんですよ」「お味噌汁のいい匂いがしますね」と、安心感を伝える声掛けで、食事に集中できる環境を整えます。急いで食べすぎる方には、食べ物を少量ずつ出したり、かき込んで食べてしまう場合は、食器やスプーンの大きさを工夫して、窒息を防ぐ環境づくりも大切です。

そして何より大切なのは、食事は介助ではなく、コミュニケーションであるということです。

その人が好きだった味、思い出の料理、家族と囲んだ食卓——。

そうした記憶が、心を落ち着かせ、食べる力を引き出してくれることがあります。

食卓は、認知症の方にとって“生きる力をつなぐ場所”でもあるのです。

連載  
No.125

# 在宅医療の現場から

医療法人社団 敬崇会


**猪原[食べる]**  
総合歯科医療クリニック

〒720-0824

広島県福山市多治米町5丁目28-15

TEL 外 来/084-959-4601

訪問部/084-959-4603

FAX 外 来/084-959-4602

訪問部/084-959-4604



当院の食支援チームの歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、言語聴覚士

## 世界の病院から 連載144 Hospitals around the world

病院見聞記・台湾編 No.72

### 佛教慈濟醫療財團法人 花蓮慈濟醫院(1)

### 慈濟の災害支援と医療活動

Buddhist Tzu Chi Medical Foundation Hualien Tzu Chi Hospital (1)  
Disaster relief and medical activities in Tzu Chi

順天堂大学  
健康データサイエンス学部  
非常勤講師(医療経営論)

福永 肇

Hajime Fukunaga



#### ■花蓮(かれん・ファオリエン)

2024年11月、台湾東海岸の「花蓮」の街を訪問した。の街の名前「花蓮」は美しい。泥の中からすくっと立つ淤泥不染(おでいふぜん)の蓮の花を中国の人は愛でる。蓮の花は極楽浄土の華で、仏様は蓮の台座に座られる。しかし、花蓮には蓮池が多くあり、蓮の名所という訳ではない。地名の由来は、原住民の「ホワリエン」という言葉の漢字表記化とか、流れの早い港「洄瀾(フウエイラン)港」が転じた、と言われていた。最初から脱線したい。写真1は私が台湾で最も好きな風景。台湾に着くと出来る限り訪れている。台北植物園の蓮池テラスから蓮池と対岸の赤壁の中華風宮殿建物の国立歴史博物館を眺める。悠久の中国を感じて過ごす時間、場所である(昔、博物館入口前に出店していた屋台の本屋で手に取った「臺灣之昆蟲圖鑑」の値段が余りに高くて戻ってしまった。それを40年間悔やんだ)。



写真1: 台北植物園の蓮池のテラスから(9月の夕方なので朝に咲く蓮花はもう眠っている)。

花蓮は40年振りであった。前回は太魯閣(タロコ)渓谷観光であった。タイヤル族の舞踊ショーや土産物店の日本語が巧みなおばさんから穿山甲(センザンコウ)皮の財布を購入したことぐらいしか花蓮での記憶は残っていない。台北発の日帰りツアーは、観光バスでの花蓮空港から太魯閣渓谷と間の往復だけであったので、花蓮市街は今回が初めてであった。花蓮1泊2日での目的は『花蓮慈濟(ツーチャー)醫院』と『慈濟大學醫學院』、『衛生福利部花蓮醫院』、『花蓮鐵道醫院址』(FMC News 2025年7月号で紹介済み)の4か所であっ

#### ■花蓮の「慈濟」

花蓮には有名な「慈濟」の本部がある。慈濟は台湾語でツーチャーと読む。慈濟は既に『臺中慈濟醫院』の見聞記にて詳しく述べている(『世界の病院

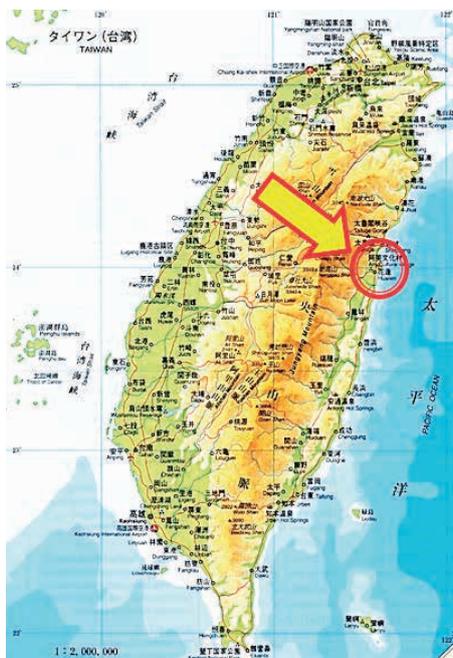


図1: 「花蓮」の位置。東海岸各地の人口は、台東市104千人、花蓮市98千人、宜蘭市95千人の順(三都の人口は最大の新北市4,048千人の2.5%弱程度)。

から、No.64/65』、FMC NEWS、Vol.12、2019年2月号/3月号)。要約すると花蓮の尼僧釈証嚴が1966年に仏教を基盤にした慈善団体「慈濟基金會」を創設した。当初38名だった会員は、現在68か国で約1,500万人になっている(日本支部もある)。私は慈濟の特徴を①医療活動(医科大学と11の病院運営)、②災害救援活動、と理解している。②では、慈濟は世界の被災現場に駆け付けて被災者支援に尽力しており、私は「現代のサンダーバード国際救助隊(1965年に英国で制作された人形劇TVドラマ)」だと表現した。活動財源は会員の浄財によっている。



写真2: 慈濟基金會本部の「静思堂」。静思堂を中心にして右側に花蓮慈濟醫院の建物群、左側に慈濟大学のキャンパス、後方には職員住宅や学生寮(高層ビル)、大食堂が配置されている。



写真3: 「静思堂」。13階建て。内部は幼稚園、事務室、国際会議場、講堂などがある。この本部がボランティアの事前研修・訓練と派遣業務を行っている。

11か所ある慈濟病院の大きな特徴は「医療ボランティア(醫療志工)」である。病院玄関ホールの一等地に、大きなボランティア部屋(社會服務室)が配置されている。ボランティアはお手伝い・補助ではなく、病院スタッフの一人として、責任を持って患者サービスを行う。院内にはボランティアの姿がとても多い(職員数よりも多い)。例えば受付、血圧測定補助、身体測定補助、患者搬送、食事・着替え等の身の回りの介助、救急搬送、患者からの各種相談、ホスピス病棟を含む患者慰問、老人デイケア訪問、在宅患者の訪問ケア、僻地無料診療同行補助、ご遺体清拭、病理解剖時の読経、靈安室の手伝いなどである。日本では医療職が給与を貰って行っているジョブである。法律で医療専門職の免許が必要とされる医療行為以外へは、医療ボランティアがドンドン入っている。医療ボランティアには中・高校生だけでなく、小学生もいる。台湾の病院は、そういう社会なのだ。



写真4: 慈濟の医療ボランティア(志工)は「ミニ袈裟(けさ)」と呼ばれるチョッキを着て仏となる。

#### ■東北、能登と慈濟

東北や能登の震災被災者の方々にとって「慈濟」の文字は生涯忘れられないであろう。2011年の東日本大震災(M9.0、最大震度7)では台湾から約252億円もの義捐金を頂いた(深謝)。お金だけでな

く台湾からは数十トンにも及ぶ救援物資も頂いた。義捐金の三分の一(32.7%)の約82億円は「慈濟基金會」からの贈与であった。釋證嚴上人が直接伝える教えにより、慈濟のボランティアは東北3県(福島、岩手、宮城)に駆け付け、震災後5日目には炊き出しを始め、現場が落ち着いてから住宅が全半壊した世帯に対して見舞金として1人世帯3万円、2~3人世帯5万円、4人以上の世帯7万円を現金支給している。延べ4,144人のボランティア会員が10回に亘って現場で支給した見舞金は96,974世帯/50億1,642万円であった。

2024年元日に発生した能登半島地震(M7.6、最大震度7)でも同じく、慈濟のボランティアがすぐさま台湾から駆けつけて公立穴水総合病院や、さわか交流館プレートの避難所で1月~3月の間に13,097食の温かい食事を提供している。2月~7月の間は公立穴水総合病院内に「慈濟茶屋」(カフェ)を開設し、入院患者や医療スタッフに飲み物を提供。5~9月にかけての5回/34会場で15,314世帯に見舞金を配布している(2024年9月現在)。能登での見舞金支給対象者は家屋の全壊または半壊で65歳以上の高齢者が同居している家庭で、1人世帯は13万円、2~3人世帯15万円、4人以上の世帯17万円。また能登の実家が被災した金沢工業大学の学生48人への助学見舞金贈呈も行った。資金財源は、慈濟の会員からの寄附金である。

実は慈濟の本部がある台湾の花蓮は、元日に発生した能登半島地震と同じ2024年の4月3日に花蓮県沖合を震源地とするMj-7.7の大地震(「2024年花蓮地震」)に襲われ、死者18人、負傷者1,145人、行方不明者2名、多くの建物損壊という被害に見舞われていた。能登半島での5~9月の見舞金配布などは、自分自身が震災被災地・被災者でもある花蓮の慈濟からの、能登半島地震への支援活動であった。

能登半島には慈濟以外からも、台湾の政府や企業、市民からの義捐金が地震発生1カ月以内に25億円が贈られて来た。台湾では心からのお礼を「感恩」という。台湾へはまさに感恩の極みである。日本のマスコミは(慈濟を含む)台湾からの支援は殆ど報道しない。それゆえ台湾から頂いた災害支援(義捐金、救援物資、炊出しなど)を被災現場の人以外で知っている日本人は多くない。

## ■花蓮慈濟醫院



写真5:「佛敎慈濟綜合醫院」と書かれている。この建物は「合心樓」といわれる。1階右端部分が「急診(ER)」。



写真6:花蓮慈濟醫院の最初の病棟「大愛樓」(1986年、慈濟貧民施醫診所から昇格)。若い尼僧の救世念望に賛同した人々からの浄財で建った。現在は北隣の「合心樓」(写真5)、西隣の「感恩樓」、「協力樓」と合わせて1,110床。

2024年11月10日(日)、「臺灣醫學史學會」が國立臺灣大學醫學院國際會議中心で開催され、参加した(私は学会会員)。学会プログラムの学会発表者の中に慈濟大學護理學院院長の彭台珠教授の名前を見つけた(護理=看護)。花蓮は今回の往訪予定先であるし、医学分野で花蓮といえば慈濟である。学会会場で彭台珠教授にコンタクトし、5日後の11月15日(金)の花蓮慈濟醫院見学のアポイントを頂いた。



写真7:花蓮慈濟醫院大愛樓の玄関入口ドア。苦境の人々を幸福の岸へ運び、慈悲の心で人々を救済する「法船」(帆船)が慈濟のシンボル。法船に蓮の花を合わせると苦難の世界に慈悲の光を届け、人々を済す「慈航普渡」になる。



写真8:病院見学の手配をして下さった慈濟大學護理學系副教授の章淑娟博士。左の写真はご本人(花蓮慈濟醫院の玄関ロビーにて)。看護教育に対する貢献が顕彰されている。

現在(2025年1月)、台湾には456の病院があり、内28病院が高度な医療機能を持つ「醫學中心(Medical Center)」の認可を国から受けている。花蓮慈濟醫院は醫學中心の病院である(写真7)。病院の南隣には慈濟大學醫學院(=医学部)もある。しかし日本では花蓮の慈濟に関する情報を全く入手できなかった(すなわち日本人は慈濟のことを知らなかった)。こうした場合には自分で現地の病院や医学部を歩いて現場・現実を見聞きするフィールド調査を行う。台東から台湾島の東海岸を特急列車「自強號(ツーチャンハオ)」で2時間余り北上し、夜の花蓮に入る。翌朝、花蓮慈濟醫院と慈濟大學を訪れた。今回からの「世界の病院から」はその時の花蓮での見聞記である(「慈濟」については、前述のFMC NEWS、2019年2、3月号を参照して頂きたい。そこにはいっぱい書いてある)。

## ■医療行為を行う仏陀

今回の「花蓮慈濟醫院」(1,110床)や6年前に往訪した「臺中慈濟醫院」(1,081床)で驚いたことは、病院玄関ホールの壁面に描かれた仏陀のお姿であった(写真9、10)。私が持つ仏陀のイメージは菩提樹の樹下で静かに救世(ぐせ)を思惟(しずい)されておられるお姿、もしくは菩提を完成後入滅されて横になられた涅槃(ねはん)のお姿である。仏像には座像や立像もある。しかし何れの仏陀も「静」のお姿で、動きはない。ところが慈濟の病院玄関ホールの仏陀は、患者の傍に寄り添い、手を差し出してケアを行っておられる「動」のお姿である。「行動している仏陀」はここ慈濟の病院で初めてみた。こういう捉え方もあるのだと「目から鱗」(新約聖書「使徒行伝」第9章18節)。慈濟の仏陀は、ハンセン病患者に触れて病を癒したイエスに似ている(「マルコによる福音書」第1章40節)。この仏陀の壁画から慈濟の哲学は、苦難に満ちた人の許に駆け付けて救済することだと理解した。仏教は長い歴史を持っているが、どうして「動」の仏陀は慈濟まで顕れて来なかったのか。台湾の花蓮の病院での「動」の仏陀の登場は、人類思想上の大きなエポックメイキングである。台湾人は本当に賢い。慈濟の「行動している仏陀」のことを、壁画を前にして章淑娟博士や会ったばかりの病院のスタッフ(ナース)の方々に、さも「これは凄いことだ」と大げさな身振り素振りで伝えた。先方は困った顔であった。このような外国人は多分、初めてであったと思う(そもそも病院見学を申し込んで来た日本人自体が台湾の病院にとっては稀有であったろう)。



写真9:花蓮慈濟醫院の玄関ホールのモザイクタイル壁画。仏陀が病む人の脈を聖水で清拭している。昼休みの時間帯なので、職員がピアノを奏でている。



写真10:(花蓮ではなく)「臺中慈濟醫院」の中央ホールの壁画。仏陀が病人に清拭をされている(2018年9月に臺中にて写す)。

(次回に続く)

2025年9月22日の颱風18号により被害に遭われた花蓮の方々に対し、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。  
花蓮 加油!!

この調査レポートは「JSPS科研費23K00259」の助成研究に付随する報告である。

# Touring Journey



経営企画係  
中島 正勝

## 飲み会ツーリングに行ってきた話

今回は10月最初の土日、知り合いのバイク屋が企画した一泊ツーリングに行ってきた話だよ。実はマサカツくん、集団ツーリングが苦手(嫌い)なので、この手のツーリングに参加することは殆ど無いんだよ。二人以上のバイクツーリングの場合、千鳥(左右に互い違いに隊列を組む)走行が基本になるんだけど、「前後の人の行動が読めない」から色々と神経使うし、大人数になると更に疲れる。例えば、黄信号で止まるか進むかの選択が難しく、下手に黄色で停止すると(遅れまいとしたバイクに)衝突される恐れもあるんだよ。あと、一般車から見ると色々邪魔だよ。アレって。

そんなオイラだけど、飲み会やBBQツーリングには必ず参加している。やっぱ、大人数で飲む酒や肉は旨いもんさねえ。さて、今年の会場は島根県松江市玉湯町の「玉造温泉」に決まったと案内がLINEに入っていた。勿論、嫁さんと参加だ!!。

自分達は「境港のさかな塾」で(夕食の事を考え)軽く海鮮丼と店頭で並んだサザエ等の刺身を食べる程度で我慢したが、他のメンバーは隣にある「海陽亭 境港店」でがっつり食っていたようだった。

### 昼食(境港水産物直売センター)



2. 昼食は「境港水産物直売センター」



1. 今回のコース

### 1. 一週間前から土日だけ「雨予報」だよ

福山も松江も土日の天気は一週間前から雨予報。まあ、土砂降りでもなければ、途中で降られるよりは最初から降ってる方が諦めも付くし、結果的に身体を濡らす事も無い。特に高速道路とかだと、途中で停車出来ないのSAやPA迄にずぶ濡れになることもある。一般道でも相当のスペースがない限り、路肩等に停車しての着替えは危険なのだ。

って事で、当日は予報どおり小雨だったので、雨具を着用しての出発だったが、気温が低かったのでむしろ快適なくらいだった。なお、集合場所はバイク屋だったんだけど、自宅からは多少遠回りになるので、最初の休憩地(道の駅:遊Youさろん東城)で合流することにした。

### 2. 昼食は「境港水産物直売センター」で海鮮丼

境港に着く頃には雨も上がり、空も少し明るくなって来た。昼食は、2022年4月24日にリニューアルオープンした「境港水産物直売センター」で頂く。数年前だったか(リニューアル前の)「境港さかなセンター」に寄ったときには活気も客足も少なく「これ、ヤバいんじゃないか?」って思ったけど、今は施設内で14店舗が元気に営業しており、通路中央にはテーブルと椅子があって休憩は勿論、店頭で並んだ新鮮な魚介類の一部をその場で食べることが出来た。

余談だけど、此処に到着したのが13時と少し遅めだったため、

### 3. 玉造温泉に到着、だが夕食には早すぎる

昼食後、当初の予定では「美保関灯台」に行く予定だったけど、皆が早く宿で休みたい(温泉に浸かりたい)と言うので、予定を変更し今日の宿へ。って事で着いたは良いけど、未だ15時半だよ。どーすんだよコレ。去年の城崎温泉と違って温泉巡りは出来ないし、楽しみにしていた「玉湯川畔の足湯(川の一部分が足湯となっている)」も、川辺に降りるのが危険なくらい増水してるよ。みんなして頭を抱えていると、何時もの1さんが「少し歩くけど立ち飲み屋があるよ」ってググってくれた。みんなして「グッジョブ」「アシストなう」「偶にはやるぜ玉造(意味不明)」とみんなして褒め称えたのだった。

#### 1) 地酒と器のひとしずく(島根の地酒専門店)

1さんが見つけたこのお店、今時珍しい「立ち飲み屋」だ。立ち飲み屋ってのは、酒屋(小売店)に併設された立ち飲みスペースで、昔は「飲食店の形態を採らない(許認可が必要)ため」酒屋とは別の入口があったんだよ。さて、話は「お店」に戻るけど、立ち飲みできる日本酒の種類が豊富で、料金はどれも一合(180ml)800円~45ml200円なので、色々な種類を飲んでから、お気に入りにはガッツリ出来るのが嬉しいよね。

結局、18時過ぎまで此処で飲んだくれ、雨が降りそうになったので宿に帰ることにした。

## 立ち飲み屋（地酒と器のひとしずく）



3-1. 地酒と器のひとしずく(島根の地酒専門店)

## 2) 出雲神々縁結びの宿「紺家」

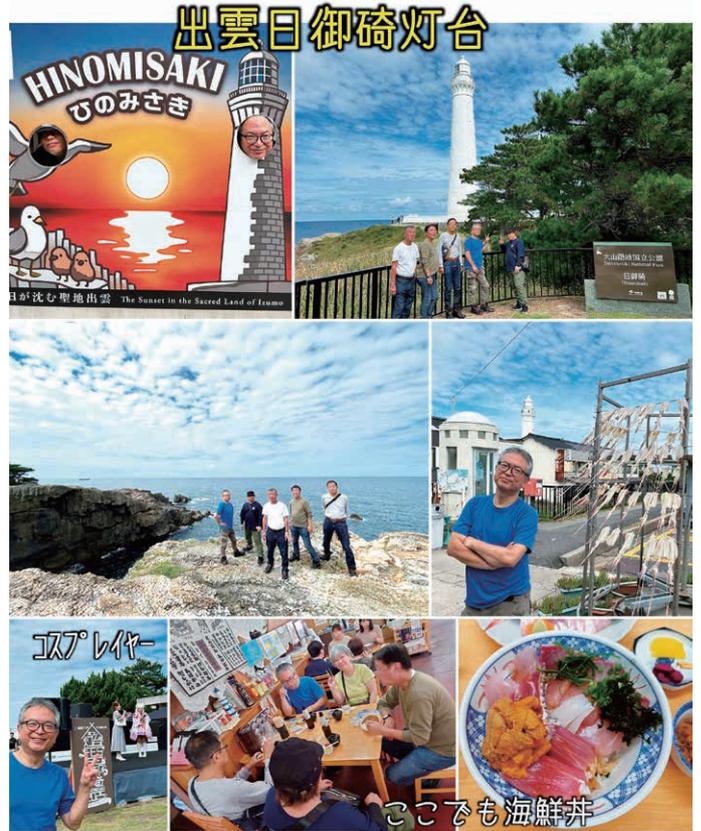
みんなの第一声が「俺ら全員が結婚してるけど、今更かよ」だった玉造温泉の宿。イヤさ、みんな勘違いしてるんじゃないの？。出雲の神様は古くから「縁結び」の神様として信仰されてるけど、これは単に男女の縁だけじゃなくて「人々を取り巻くあらゆる繋がりのご縁」を結んで下さる親切な神様なんだよ。失礼なヤツらだなあ。あっ、神様、マサカツくんは違いますからね。そこん所よろしくお願い致しますよ。

## お宿（出雲神々縁結びの宿）



3-2. 出雲神々縁結びの宿「紺家」

夕食は(昼が遅かったので)19時からだったけど、立ち飲み屋から帰って来ると時計の針は夕食の40分前、慌てて温泉に向かったのはご愛敬。「一たび濯げば形容端正しく、再び浴すれば万の病悉に除くる。古より今に至るまで験を得ずといふことなし」(一度浴びれば容姿がたちまち麗しくなり、再び浴びればどんな病もすべて治る。昔から今まで効き目がないということがない)と「出雲国風土記」にも紹介されている日本最古の温泉は素晴らしかった。



4. 出雲日御碕灯台

## 4. 翌朝は「出雲日御碕灯台」へ、レッツらゴー

昨日の天気が嘘のような晴天。今日は「鳥取県倉吉市」の牛骨ラーメンと「蒜山ジャージーランド」でスイーツの予定だったんだけど、GoogleMapを覗くと所々通行止めのマークが。どうして？何かあったの？と調べてみると、今日は「第44回日本海駅伝」があるって言うじゃないの。オイオイ、誰も事前に調べてないんかあ〜い。って事で、反対方向の出雲日御碕灯台へと目的地を変更する事となった。まあ、こんなこともあるさ。

出雲日御碕灯台(いずものみさきとうだい)は、島根県出雲市にある日御碕の突端に立つ灯台で国の重要文化財に指定されている。石造灯台としては日本一の灯台の高さがあり、世界灯台100選や日本の灯台50選に選ばれた日本を代表する灯台なんだけど、何時行っても混雑してないので団体ツーリングには最適の場所なんだよ。

さて、今日は此处で早めの昼食(11時)となったが、ココでも「海鮮丼」を頂いた。だって、他に選択肢が無かったんだもん。なお、Iさんは普通のカレーを食べてたよ。話は変わるけど、自分用にニギスとノドグロの一夜干しを買って帰ったんだけど、う〜ん、イマイチ(コレじゃ無いって感じ)だったかな。お店の人には悪いけど。

## 5. 終わりに

距離的には物足りなかったけど、みんなと飲むお酒は美味しかったので大満足。さて、今月の終わりには遅い夏休みを取って、奈良方面に5泊6日のツーリングの予定だ。

# No.136

## 『赤もいいけど、紫も…?』

庶務係長  
谷口 研郎



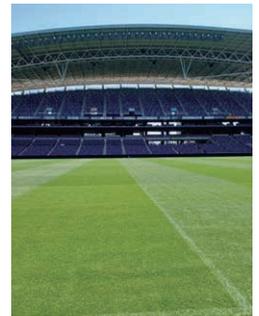
今年もクライマックスシリーズ開幕を待たずに我々がカープの今シーズンは終了いたしました。あとはドラフト会議や海の向こうのドジャース大谷の活躍を楽しみにしつつ、来季開幕をおとなしく待つ…という方も多いかもしれませんが、私には別の楽しみが残っています。そうサンフレッチェです！リーグ優勝はかなり難しい状況ですが、ルヴァン杯に天皇杯、ACLEとまだまだ熱い戦いが期待できます。

私が小学校に上がる前年にJリーグが開幕しましたが、当時の熱気はすごく、私も例に漏れずJリーグチップスのカードを集めたり、缶バッジを幼稚園のカバンにたくさん付けていました。開幕当初のサンフレッチェはなかなか強く、森保一や風間八宏、高木琢也など代表選手も多く所属しておりました(ちなみに当時の私の推しはノジュンユンでした)。その後経営難に陥ったサンフレッチェは2度のJ2降格など、厳しい時代を迎えます。その後森保監督を迎え、Jリーグを3度制するなど黄金期もありましたが、私自身はたまにTV中継があれば見る程度になっていきました。

再びサンフレッチェにはまったきっかけはスキップ監督の展開するスリリングなサッカーです。高い位置から積極的にプレスをかけてボールを奪い、手数をかけずにゴールに迫る(最近他チームに研究されてきて、

なかなか思い通りに行かないことも多いですが…)。サンフレッチェの試合がある日は、オフィシャルショップで購入したレプリカユニフォームを着て、DAZNに繋り付いています。まだピースウィングで観戦は出来ていないのですが、4月にはスタジアム観戦ツアーに参加し、普段入ることの無いVIP席やベンチなどにも入ることが出来て大満足でした。

現在のサンフレッチェには荒木隼人や大迫敬介などの現役日本代表選手や中島洋太郎や中村草太などの将来有望な選手もたくさんいます(他にも挙げたい選手は沢山いますが、キリがないのでこれくらいに。ちなみに私のレプリカは東俊希です)。カープもいいけどサンフレッチェもいかがでしょうか？



# AUSTRALIA No.11

## ~まいこはんのオーストラリアのカフェご飯~

今回訪れたのは、ブリスベンの街の中心地から車で15分ほど。ブリスベンリバーのフェリー乗り場からも近い、川沿いの高級住宅街プリンバにある「ベリッシモコーヒープリンバ店」。リバーフロントのエリアはミリオン級のお家が並び、ちょっと品のあるおしゃれな人たちが集うエリアです。

ベリッシモは“オーストラリアで最も多くの賞を受賞したコーヒーロースター”という肩書を持つ有名店。店内は吹き抜ける天井から自然光が広がり、あちこちにある観葉植物が落ち着ける空間を作り出していた。さすが人気店だけあってランチタイムのこの時間は地元のコーヒー好きで賑わっていた。

一緒に訪れたのは友人のマリちゃん。私のホストファミリーの娘さんのバンドに、マリちゃんの旦那さんがギタリストとして参加していたのが縁で仲良くなった。数年前、彼女がシドニーから家族でブリスベンに引っ越してきて以来、子どもがお昼寝をしている間にお家で近況報告し合うのが私たちのお決まり。今回、子どもが保育園に通い始めて、やっと二人でカフェに行けるようになった記念のお出かけだった。

実はマリちゃんも私と同じマッサージセラピスト。心や体についての学びを共有できる大切なお友達。この日は私の妊娠を報告したところ、彼女がお祝いにとランチをごちそうしてくれた。ママになっても自分の学びを続ける姿は、私も目標にしたいところだ。

ランチに選んだのは何とも発音しにくい「インドウイア アランチーニ」21.90ドル(約2140円)。ピリ辛の熟成豚ソーセージにグリーンピース、ココのあるスカモルツァチースを包んだイタリア風ライスコロッケ。普段は面倒で揚げ物をしないので選んだが、チーズの旨みが最高で感激!

リメディアルマッサージセラピスト  
木下 真依子



【プロフィール】  
広島県福山市生まれ  
オーストラリアブリスベン在住15年  
ヨガや瞑想も教える  
リメディアルマッサージセラピスト  
@maikoinbrisbane

もちろんコーヒーも大満足。私はカフェインなしのカフェモカ5.8ドル(約567円)、マリちゃんはカプチーノ5.2ドル(約508円)。カップは小さめだけれど、一口で「違う!」とわかる奥深さだった。クセになる美味しさで、通いたくなる気持ちがよくわかる。

スタッフの方々もフレンドリーで、楽しそうに働いている雰囲気伝わってくるのも心地よかった。物価が高いオーストラリアだが、たまにはこんなふうにお腹も心も満たされる時間を持ちたい。



Design  
#105

## 「伝わるデザイン」

## MOURI DESIGN

毛利 祐規 / グラフィックデザイナー

【Profile】大阪、東京のデザイン会社勤務を経て、2011年に独立。福山市を拠点に、全国の企業やお店、ブランド等のロゴマーク制作と、それに伴うブランディングやブランド戦略、プロモーション等を専門に手がけています。



みなさまこんにちは。グラフィックデザイナーの毛利と申します。私は福山市を拠点に、全国の様々な分野のデザインを手がけさせていただいています。そんな中でも最も多く手がけているのは、企業やお店、ブランドなどの立ち上げやロゴマーク制作からたずさわるような「ブランディングデザイン」です。私が手がけた仕事等を通じて、デザインやブランディング、ブランド戦略、プロモーションの大切さや効果などをお伝えしていきます。



## ■ 私のスマホケース

今回は、私が普段使っている「スマホケース」のデザインをご紹介します。これは、私が欲しいと思えるスマホケースが見つからなかったため、自分で作ろうと思い制作したものです。私がブランディングを手がけさせていただいているクライアントさんのロゴを、単色でレイアウトしたデザインです。このスマホケースを持っていけば少しは話しのネタになるかな、くらいの気持ちで制作したのですが、私の想像以上の効果がありました。初対面の方とお話しさせていただいた際、ほとんどの方がこのケースを気に入っていただけて、「これは毛利さんが作ったんですか?」「どこの商品ですか?」「そのケースすごくかわいいですね!」などと言ってくださいます。コミュニケーションツールとして役立っているだけでなく、実際にこのケースきっかけでいくつか仕事にもつながっています。コミュニケーションツールとして、オリジナルのスマホケースを作るのはとてもおすすめです。



J.S.A. ソムリエ

日本酒のソムリエ 味酒師

SSI 認定 国際唎酒師

No.52

SSI認定国際唎酒師  
J.S.A.ソムリエ

宮岡 瞳

## SAKE Freak

## 【プロです】

皆さまこんにちは。ソムリエ・国際唎酒師の宮岡です。この原稿を新大阪行きの新幹線に乗りながら書いています。乗った新幹線が、たまたまワンピースの列車でした。時々チョッパーが喋っています。ワンピースは、チョッパーと『生きたいっ!!!』のセリフくらいしか知りませんが、アナウンスでチョッパーが「いっぱい冒険してこいよ!」って言うので心なしかウキウキしています。

さて、先日引き続き東京編です。前夜に呑み過ぎた日も、朝からちゃんとワインを飲みました。最初のお店はフォカッチャとワインのお店。1杯目は軽くシードルからスタートして、次は白を飲みたいなと思っていたら、お店の方が微発砲でとてもフレッシュなポルトガルの白ワインをおすすめしてくださいました。お肉がサンドしてあるフォカッチャを食べていたので、もしかしたらワインが負けるかもって思っていたのですが、中に紫キャベツの酢漬が入っていてあっさり食べられたので、非常にドンピシャなワインでした。お店のワインを熟知しているスタッフさんから薦められるワインは最高ですね。プロです。

2軒目は、ワインショップの角打ちでオレンジワインを。店内はしっかり冷房が効いていて、お店全体がワインセラーと言ってもおかしくないような管理がなされていました。とても暑い日だったので最初はクーラーガンガン効いているのがありがたかったのですが、ワインの温度が変わらないくらい店内が冷えていたので半袖には少しキツイ。ただワインのためには温度管理は大事。スタッフさんは長袖で仕事をしていました。プロです。

来月第三木曜日、11月20日(木)はポジョレーヌーボーの解禁日です。ポジョレーヌーボーのワインそのものより、キャッチコピーが気になる所ではあります。23、24年は不明なので25年も、もしかしたら今年も出さないかもしれません。なので、個人的に好きなキャッチコピーの年をお伝えして原稿の結びとさせていただきます。

2008年【フルーツ、フルーツ、フルーツ】  
原料がブドウでものね、それはそう。



ポルトガル/ヴィヴォベット・ナット・ブランコ



ラベルが素敵なオレンジワイン



# 食事に関するアンケート調査を実施しました

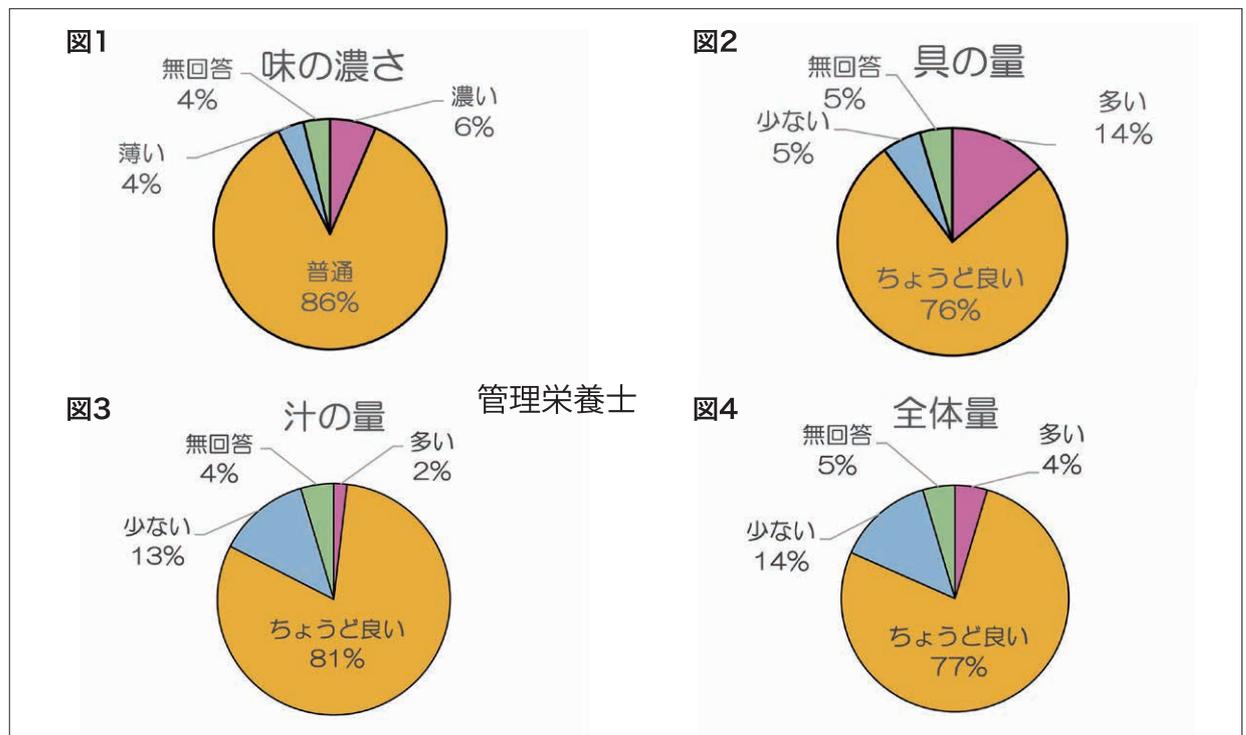
管理栄養士 大月 智加

栄養管理室では、入院患者さまを対象に食事に関するアンケート調査を実施しています。このアンケート調査結果から病院食の満足度や嗜好を把握し、献立改善に役立てています。

以前より味噌汁の味付けが濃すぎる、汁の量が少ないといった意見をいただいていた。味噌汁の見直しをし、令和7年8月に実施した味噌汁に関する調査結果を一部ご報告いたします。味噌汁の味の濃さについては「普通」と回答された方が80%以上の評価結果でした(図1)。具の量、汁の量、全体量についての評価では、75%以上の方から「ちょうど良い」と評価いただきました(図2~4)。他味噌汁についてのご意見やご感想も多数いただいています(表1)。

今後もアンケート調査からいただいた貴重な意見を参考に、より良い食事提供に繋がられるよう給食業務に取り組んでまいります。アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

## 【食事の満足度】



## 【味噌汁についてのご意見】

表1

### ●具材について

- ・あさり、しじみの味噌汁が飲みたい。
- ・具材も色々入っていて温かくて美味しかった。
- ・いろんな野菜の味噌汁がいただけで良かったです。

### ●提供回数について

- ・朝だけでなくもっと汁を付けてくれたら食が進む。
- ・毎食味噌汁を付けるのは難しいでしょうか。特に冬場だと体も温まると思います。

### ●温度について

- ・温度がもう少し熱い方が良いと思う。
- ・朝の味噌汁がぬるい。もう少し熱い方がいい。

### ●味について

- ・味は大変美味しかった。
- ・出汁がよくきいていておいしいです。
- ・減塩食なので仕方がないと思いますが、減塩食にしては美味しい。
- ・私は糖尿もないので味が薄すぎるのは苦手ですが、家でも極力薄味を心がけています。
- ・私は日頃から塩味の濃い味噌汁ですが、今日のような薄味でも美味しくいただけることを再認識しております。

# 広報委員会だより

• 経営企画係長 松浦

インスタ  
を添えて

Instagramをいつも見ていただきありがとうございます。  
9月は手術室での撮影が重なったり、  
高校生のふれあい看護体験があったりと、とても奔走した撮影月となりました！  
10月はロボット手術の密着動画や入院食の裏側の動画を投稿予定に  
なっておりますので是非フォローをよろしくお願いいたします。

## ♡ 令和7年9月の注目投稿!

今月の注目投稿は「胃癌の残胃全摘術の密着」です。

毎日当院では様々な手術が行われていますが、1回の手術にたくさんの職員が関わり、患者さんを想い手術と向き合っていました。これからも当院を信頼し、治療を受けてくださる患者さんのため、職員一同ひたむきに頑張っていきます。そんな姿勢をInstagramで発信していけたらなと思います!

### 9月の 投稿一覧



## Instagram始めました!

病院紹介、採用情報を掲載しています。  
是非ご覧ください。



nho\_fukuyama

ヒカゲノカズラ (ひかげ)

巻18-4120



「歌の大意」(万葉集私注 土屋文明 著)

見まく欲り思ひしなへに葛かげかぐはし  
君を相見つるかも。

見たく願ひ思つたと共に、  
カツラカゲ(枕詞)美しい君に  
相合つたことかな。

万葉植物考

万葉表記： ひかげ(やまかずら、やまかづらかげ) 該当する植物ヒカゲノカズラ  
ひかげのかずら科 ひかげのかずら属： 今も生きている古代植物の代表種です。四億年前に陸上に現れた  
と言われています。日本各地の山麓の比較的明るい所にはえる常緑多年草。茎は緑色で、長く地上をはい2m  
にも達し、しばし茎の途中で分枝して白い根をだしてさらに繁殖を行います。葉は輪生または螺旋状に蜜生  
し、長さ4~6mm、幅0.5mm。子のう穂は直立する細茎上に2~4個つきます。和名は日影の葛は陰地にはえ  
るつる植物です。古事記、日本書記にも出ており、古くから清浄なものとされてきました。現代でも正月のめ  
でたい料理の飾りにしたり、花輪や卓上の飾りとして使われます。長く伸びる茎の姿から長寿を連想して縁  
起をかついだのでしょうか。この植物はテングノタスキ、キツネノタスキ、ウサギノタスキ、ヤマウバノタスキなど  
風変わりな俗称を持つているのが特色です。ひかげのかずらの歌は万葉集には三首だけです。この歌は、天  
平感宝元年間の五月二十八日の作です。家持が都に行った時、高貴な人や宴席に待てる美人などに逢うこと  
もあるだろうと、あらかじめ予想して作った歌です。これはその前の五月二十七日、部下の久米朝麻広綱が前  
年朝集使となって都に行き一年ぶりに帰って来たのを歓迎する宴を家持の官邸で盛大に行った。そこで自分  
が都に行った時のことを想像して詠んだものと思われま。ヒカゲノカズラを中国語で(石松)shí sōngと  
言います。この植物は新嘗祭(しんしょうさい)などの神事に使う冠の笄(こうがい)にかけ飾りとして用い  
られた神聖な草です。用途：昔は、胞子を、消化器官と泌尿器の疾患の治療薬に、鎮痙(ちんけい)作用ある  
鎮静剤に使っていました。アメリカの先住民のプラットフット族は胞子に止血・癒傷(ゆしょう)吸水作用がある  
ことを知り鼻血には吸入し、切り傷にはふりかけました。現在でも、外傷と湿疹の治療に用いています。硬質  
で光沢のある胞子は「石松子」(せきしょうし)と言われ、丸薬の衣や花火の閃光材などに使われています。

THE MANYO-SHU  
KANSAI UNIVERSITY OF INTERNATIONAL STUDIES

4120. As soon as I wished  
To see a pretty lady,  
Here have I met you,  
Who look fine especially,  
Decked up with a floral wig.

見<sup>ミ</sup>麻<sup>マ</sup>久<sup>ク</sup>保<sup>ホ</sup>里<sup>リ</sup>  
見<sup>ミ</sup>都<sup>ツ</sup>流<sup>ル</sup>賀<sup>カ</sup>母<sup>モ</sup>  
於<sup>オ</sup>毛<sup>モ</sup>比<sup>ヒ</sup>之<sup>シ</sup>奈<sup>ニ</sup>倍<sup>ヘ</sup>爾<sup>ニ</sup>  
賀<sup>カ</sup>都<sup>ツ</sup>良<sup>ラ</sup>賀<sup>カ</sup>氣<sup>ゲ</sup>  
香<sup>カ</sup>具<sup>グ</sup>波<sup>ハ</sup>之<sup>シ</sup>君<sup>キ</sup>乎<sup>ミ</sup>  
安<sup>ア</sup>比<sup>ヒ</sup>

みま<sup>く</sup>ほ<sup>り</sup>な<sup>へ</sup>に<sup>は</sup>し<sup>な</sup>へ<sup>に</sup>か<sup>げ</sup>か<sup>ぐ</sup>は<sup>し</sup>  
き<sup>み</sup>を<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>ひ<sup>あ</sup>つ<sup>る</sup>か<sup>も</sup>。

お<sup>お</sup>と<sup>も</sup>の<sup>す</sup>く<sup>ね</sup>や<sup>か</sup>も<sup>ち</sup>  
大<sup>お</sup>伴<sup>と</sup>宿<sup>す</sup>禰<sup>ね</sup>家<sup>か</sup>持<sup>もち</sup>



### 一枚の絵 NO.154

## yukimitsu sanayasu の ぶらり旅日記

#### 備前焼の里 伊部

備前焼の町、備前市伊部(いんべ)は、日本六古窯の一つに数えられる備前焼の里として知られ、町を散策すると備前焼で作られた案内板やレンガ造りの赤い煙突が立ち、風情ある町並みが広がります。

備前焼は釉薬を使わず、千数百度の高温で1週間以上かけて焼き締めるのが特徴で、窯の温度や焼成時の灰などによって、一つとして同じ模様にならない手作りの味わい深さが魅力です。

窯元やギャラリーを巡りお気に入りの備前焼に出会えることが出来ました。



さな やす ゆき みつ  
真安 幸光氏

# FMC NEWS

## VOL.18 2025

### OCTOBER

### 編集後記

今年の夏休みは、子どもと一緒に北海道の水族館を3か所巡るという、ちょっと贅沢な旅をしてきました。訪れた水族館は、おたる水族館、AOAO SAPPORO、千歳水族館です。それぞれに異なる魅力があり、海や川の生き物たちの世界にたっぷりと浸ることができました。

特に印象的だったのは、水族館ごとの「歴史の重み」の違いです。おたる水族館は今年で開館50周年を迎え、長年にわたり地域に愛されてきた施設で、展示の随所に長年の積み重ねを感じました。昔ながらの雰囲気は、どこか懐かしさと安心感がありました。久しぶりのイルカショーでみた、ダイナミックなジャンプは懐かしくワクワクドキドキしながら子供と楽しむことができました。

一方、AOAO SAPPOROは開館1周年を迎えたばかりの都市型水族館です。札幌の中心部に位置し、最新の技術とデザインを融合させた展示が特徴です。幻想的なクラゲの空間やデジタルアートを用いた演出、キタイフトビペンギンのダイナミックな行動を観察できる水槽など、まるで美術館のような洗練された空間の雰囲気には驚きました。

最後に、千歳水族館では、淡水魚の生態や川の仕組みについて学びました。千歳川の中が観察できる水槽は、まるで川の中に入り込んだような不思議な感覚を味わえました。普段は見られない川底の世界を、身近に感じることができ、自然の奥深さを改めて感じる時間となりました。また、地域に根ざした展示が多く、千歳川の上流から下流の流れや生態も知ることができて楽しかったです。

それぞれの水族館で感じた「時間の流れ」は、私たちの仕事にも通じるものがあるように思います。長く続けてきたことの価値、新しいことへの挑戦、そして地域とのつながり。日々の業務の中でも、こうした視点を大切にしていきたいと改めて感じました。

作業療法士長 守谷 梨絵

## ひまわりサロンミニレクチャー

現在予定はありません。今後、開催日が決まりましたら当院ホームページにて改めてお知らせします。

## 音楽カフェ

『スプリングコンサート』の様子を院内放送の12チャンネルで放送中です。「春が来た」「さくらさくら」「森へ行きましょう」「おぼろ月夜」など誰もが知る春の童謡を、内科・村上敬子先生をはじめとする当院の職員とOGが演奏します。ハンドベルとトーンチャイムで奏でるおだやかな春の音色をぜひご鑑賞ください。



## お知らせ 研修会・オープンカンファレンス

### 市民公開講座

【演 題】 **子どもたちが安心して過ごせる社会を目指して  
～児童虐待0ゼロを実現するために～**  
【講 師】 中国労災病院 小児科部長 小西 央郎 先生  
【日 時】 2025年11月1日(土) 14:00~  
【場 所】 国立病院機構 福山医療センター  
外来管理棟4階 大研修室

# STAFF

publisher 稲垣 優  
chief editor 大塚 眞哉 森岡 頼彦

- 【部】
- 臨床研究部 大塚 眞哉
- 救急医療部 徳永 尚之
- がん診療部 三好 和也
- 教育研修部 豊川 達也
- 治験管理部 内海 方嗣
- 医師業務支援部 常光 洋輔
- 広報部 大塚 眞哉
- 感染制御部 齊藤 誠司
- 国際支援部 藤田 勲生
- ワークライフバランス部 岩瀬 瑞恵
- 緩和ケア部 高橋 健司
- 薬剤部 高橋 洋子
- 看護部 市楽 美千代
- 集中治療部 友塚 直人

- 【センター】
- 難入院支援・副都心センター 友塚 直人
- 医療連携支援センター 常光 洋輔
- 小児医療センター 荒木 徹
- 新生児センター 岩瀬 瑞恵
- 内視鏡センター 豊川 達也
- 外来化学療法センター 岡田 俊明
- 心臓リハビリテーションセンター 廣田 稔
- 若性・人工関節センター 甲斐 信生
- 頭頸部腫瘍センター 中谷 宏章
- 低侵襲治療センター 寺石 文則
- エイズ治療センター 齊藤 誠司
- 画像センター 道家 哲哉
- がんゲノム医療センター 三好 和也

- 【科】
- 診療放射線科 古志 和信
- 臨床検査科 平岡 健吾
- リハビリテーション科 門脇 守男
- 【室】
- 栄養管理室 藤原 朝子
- 医療安全管理室 大塚 眞哉
- 高田 薫
- 野村 猛世
- 経営企画室 藤田 勲生
- がん相談支援室 藤原 千尋
- 歯科衛生士室 藤原 博政
- ME室 西原 佑典
- 診療情報管理室 峯松 佑典
- 【医局】
- 医局 二萬 英斗



独立行政法人 国立病院機構

# 福山医療センター



## 基本理念

わたしたちは、国立病院機構の一員として、医の倫理を守り、患者さまの権利と意思を尊重し、患者さまの健康と医療の質の向上のため、たゆまぬ努力を行い、安全でしかも患者さまにとって最善の質の高い医療をめざします。

## 基本方針

1. 患者さまに寄り添い、患者さまを中心とした医療を提供します。
2. チーム医療の実践により効率的で安全な質の高い医療を提供します。
3. 地域医療機関と密に連携し、患者情報の共有による一貫した医療提供体制を構築します。
4. 政策医療の「がん」「成育医療」「骨・運動器」を中心として、地域に最適な医療の提供に貢献します。
5. 健全な経営に努めるとともに、常に明るく活力のある職場作りを心掛けています。
6. 臨床研究を精力的に行い、医学の進歩に貢献するとともに、日々研鑽して臨床教育・研修の充実に努めます。

# 外来診療予定表

令和7年10月1日現在

【受付時間】 平日 8:30~11:00

※眼科は休診中です。

【電話番号】 084-922-0001(代表)

(地域医療連携室) TEL 084-922-9951(直通)

FAX 084-922-2411(直通)

診療科名			月	火	水	木	金	備考
小児医療センター	小児科	午前	坂本 朋子	藤原 倫昌	山下 定儀	北田 邦美	坂本 朋子 小田 慈※1	予約のみ ※1 毎月第3 ※2 毎月第2 ※3 毎月第1・3
		午前	荒木 徹 藤原 倫昌 北田 邦美	山下 定儀 北田 邦美 山道 奈都子	荒木 徹 藤原 倫昌	荒木 徹 山下 定儀 近藤 宏樹※2	荒木 徹 北田 邦美	
		午後	荒木 徹 山道 奈都子	藤原 倫昌	荒木 徹 藤原 倫昌	荒木 徹 山下 定儀 近藤 宏樹※2 細木 瑞穂 坂本 朋子 藤井 智香子※3	山下 定儀 藤原 倫昌 北田 邦美	
	摂食外来				綾野 理加	綾野 理加		水(1週)・木(4週)・・・9:30-16:00
	乳児健診							予約制(水・木)
	予防接種・シナジス		シナジス	予防接種				シナジス外来は冬期のみ 13:30-14:30 予防接種 13:30-14:30
	小児外科・小児泌尿器科		山道 拓	窪田 昭男※5 (13:00-15:30)	岩崎 駿	山道 拓 吉田 篤史※4 (13:30-16:00)		※4 隔週 ※5 毎月1・3・5... 小児便秘専門外来併診 診察は小児科で行います
新生児センター	新生児科	午前	猪谷 元浩				岩瀬 瑞恵	
		午後		猪谷 元浩	岩瀬 瑞恵			
産婦人科	産婦人科外来		今福 紀章 藤田 志保	山本 暖 中村 一仁	山本 暖 末森 彩乃 今福 紀章	今福 紀章 藤田 志保	山本 暖 末森 彩乃 中村 一仁	木(10:00-12:00)・・・母乳外来(予約制) 産婦人科外来で行います
				出生前カウンセリング			出生前カウンセリング	
泌尿器科	泌尿器科外来	午前	岩根 享輔	長谷川 泰久 増本 弘史 川口 晃 石井 康道	長谷川 泰久 増本 弘史 川口 晃 石井 康道	川口 晃	長谷川 泰久 増本 弘史 川口 晃 石井 康道	長谷川医師・・・金(2・4・5週)終日・(1・3週)午後のみ 増本医師・・・金(1・3週)終日・(2・4・5週)午後のみ 川口医師・・・金(1・3週)終日・(2・4・5週)午後のみ 石井医師・・・金(2・4・5週)終日・(1・3週)午後のみ
		午後	岩根 享輔	長谷川 泰久 増本 弘史 川口 晃 石井 康道	長谷川 泰久 増本 弘史 川口 晃 石井 康道		長谷川 泰久 増本 弘史 川口 晃 石井 康道	
					ストーマ外来			
総合内科	総合内科外来	初診	福井 洋介 廣田 稔	豊川 達也	藤田 勲生	稻生 祥子	齋藤 誠司	福井医師・・・月(2・4週) 廣田医師・・・月(1・3・5週)
			原 友太 高田 皓平	福井 洋介 住井 遼平 佐藤 大直	齊藤 誠司 山西 友梨恵	石川 順一 高木 桃李	平岡 凌河 岡本 晃一	水・・・齋藤医師(総合内科・感染症科)

ご予約がなくても受診は可能です(完全予約制を除く)。ただし、ご予約をいただいた方が優先となりますので、長い時間お待ちいただくこともございます。あらかじめご了承ください。

診療科名			月	火	水	木	金	備 考
消化管内科	消化器内科外来		藤田 勲生 村上 敬子	豊川 達也 野間 康宏	稻生 祥子	村上 敬子	豊川 達也	月…村上医師は紹介患者を午前中のみ
肝臓内科	肝臓内科外来				兒玉 英章		兒玉 英章	
血液内科	血液内科外来		近藤 匠					月…第1・3・5週のみ
内分泌内科	内分泌内科外来			寺坂 友博			石井 貴大	
糖尿病内科	糖尿病内科外来	午前 午後	須江 美裕		須江 美裕			予約制(初診は地連予約のみ)
肝・胆・膵 外科	肝・胆・膵外科外来	午前			稲垣 優 北田 浩二	稲垣 優 徳永 尚之		
		午後				内海 方嗣		
消化管外科	消化管外科外来	午前	宮宗 秀明 寺石 文則	大塚 眞哉 濱野 亮輔 大元 幹雄 斧田 尚樹	大塚 眞哉	常光 洋輔 宮宗 秀明	常光 洋輔 岡林 弘樹 高橋 立成	大元医師…火(第1・3) 斧田医師…火(第2・4)
		午後	宮宗 秀明・寺石 文則	濱野 亮輔		宮宗 秀明	岡林 弘樹	
ストーマ外来	ストーマ外来	午後	宮宗 秀明					
乳腺・ 内分泌外科	乳腺・内分泌外科 外来	午前		三好 和也	高橋 寛敏		三好 和也	
		午後	高橋 寛敏	三好 和也	高橋 寛敏	楢原 友希		月曜日(午後)は予約患者のみ
遺伝診療科	遺伝診療科外来	午前				山本 英喜		木…第1・3週午前のみ(院内紹介予約患者のみ) ※診察は脳神経外科外来で行います
内視鏡セン ター	消化管		野間 康宏 豊川 達也 稲生 祥子 住井 遼平 石川 順一 大江 啓史 平岡 凌河 岡本 晃一 山西 友梨恵	藤田 勲生 稲生 祥子 原 友太 表 静馬 石川 順一 内田 大輔 松三 明宏 岡本 晃一 高木 桃李	豊川 達也 野間 康宏 村上 敬子 原 友太 住井 遼平 石川 順一 平岡 凌河 岡本 晃一 佐藤 大直	藤田 勲生 豊川 達也 野間 康宏 片岡 淳朗 原 友太 住井 遼平 平岡 凌河 岡本 晃一 山西 友梨恵	稲生 祥子 藤田 薫生 野間 康宏 前原 弘江 原 友太 住井 遼平 石川 順一 佐藤 大直 山西 友梨恵	
	気管支鏡			岡田 俊明 市原 英基 妹尾 賢 杉崎 悠夏 大森 洋樹 松浦 宏昌 高田 皓平 馬場 貴大			岡田 俊明 妹尾 賢 杉崎 悠夏 大森 洋樹 松浦 宏昌 高田 皓平 馬場 貴大	
呼吸器内科	呼吸器内科外来		岡田 俊明 松浦 宏昌	市原 英基	妹尾 賢 大森 洋樹 馬場 貴大	岡田 俊明 松浦 宏昌	大森 洋樹 馬場 貴大	月・水・木…肺がん検診、月・木…結核検診 火…市原医師は午前のみ 金…大森医師は午後のみ 水…馬場医師は第1・3・5週 金…馬場医師は午後のみ
呼吸器外科	呼吸器外科外来	午前 午後	高橋 健司 二萬 英斗	高橋 健司		二萬 英斗		
循環器内科	循環器内科外来						廣田 稔	水…心臓カテテル検査(午後のみ)
血管外科	血管外科外来						丁 サムエル	第2・4金曜日 13:30-15:30
心臓リハビリ テーション センター	心臓 リハビリテーショ ン		廣田 稔 上田 亜樹			廣田 稔 上田 亜樹		
脊椎・ 人工関節 センター	整形外科		宮澤 慎一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 渡邊 典行 山下 涼介	宮本 正 日野 知仁	宮澤 慎一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 宮澤 慎一 渡邊 典行 山下 涼介	初診は紹介状持参の方のみ 水…受付は10:30まで 木・金…宮澤医師(午前のみ) 月・水…宮本医師(月・午後のみ)/(水・午前のみ) 月・水・木…日野医師(午前のみ) 木…松下医師(午前のみ) 火・金…山下医師(火・午後のみ)/(金・午前のみ)
				リウマチ・関節外来				
頭頸部腫瘍セン ター	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	午前	中谷 宏章 竹内 薫			中谷 宏章 福島 慶	福島 慶 竹内 薫	午後は予約のみ
		午後	福島 慶			中谷 宏章 福島 慶	補聴器外来	補聴器外来…第2・4金曜日午後のみ
	形成外科	午前	三河内 明 井上 滙子		三河内 明 河田 真由美		三河内 明 河田 真由美	
皮膚科	皮膚科外来	午前	森田 安理	下江 敬生	藤井 江利子	下江 敬生		月～木…午前のみ 金…休診
精神科	精神科外来		水野 創一	水野 創一	水野 創一	水野 創一		月…初診のみ(地連予約必) 火水金…再診のみ
エイズセンター	総合内科・感染症科		齊藤 誠司		齊藤 誠司	齊藤 誠司		月…齊藤医師は午後のみ(予約のみ)
画像セン ター	放射線診断科		道家 哲哉 岸 亮太郎	道家 哲哉 岸 亮太郎	道家 哲哉	道家 哲哉 岸 亮太郎	道家 哲哉	左記、地連予約枠
	放射線治療科		中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	火・金…ラルス治療(午後)
	IVR		平岡 凌河 石川 順一 兒玉 英章		廣田 稔 福井 洋介	坂田 雅浩 兒玉 英章		月…午後のみ 木…午後のみ
口腔相談 支援センター	口腔相談		黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	平日 8:30-16:30(予約不要)
看護外来	リンパ浮腫外来		岡野 敬子 大原 聡子			岡野 敬子 大原 聡子		予約のみ 月…初回の方のみ 木…2回目以降の方のみ
	がん看護外来				がん専門看護師			予約のみ がん専門看護師又はがん分野の認定看護師対応
そ の 他	健康診断		健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	平日 8:30-10:00 受付 ※事前に予約連絡をお願い します(内科・外科…予約不可 産婦人科…11:00まで) 市検診の肺がん検診は月・水・木
	禁煙外来				長谷川 利路 (代診の場合あり)			※診察は耳鼻咽喉・頭頸部外科で行います。 水…10:00-12:00 初診は月1回指定日になります

【休診日】土曜・日曜・祝日、年末年始(12/29-1/3) ※眼科は休診中です。



# 秋麗

## CONTENTS

手術支援ロボットDaVinci(ダビンチ)による手術が300例に達しました。	1~3
急性腹症について講演させていただきました。	4
学会報告 第64回日本小児外科学会中国四国地方会を開催しました。	5・6
市民公開講座	7
1枚の絵 No.154 ひまわりサロンミニレクチャー 音楽カフェ お知らせ 研修会・オープンカンファレンス	20
編集後記	20
外来診療予定表 (2025年10月)	21・22

## 連載

No.5 面白い生物の世界とクラシック音楽	8
"中国ビジネス情報" 転載 外科医のひとりごと Vol.71	9
No.125 在宅医療の現場から	10
連載144 世界の病院から	
病院見聞記・台湾編 No.72	11・12
マサカツくんのツーリング紀行 No.78	13・14
No.136 事務部だより「赤もいいけど、紫も…?」	15
No.11 まいこはんのオーストラリアのカフェご飯	15
Design No.105	16
SAKE Freak No.52	16
栄養管理室 No.201	
食事に関するアンケート調査を実施しました	17
広報委員会だより Vol.3	18
萬葉の花と歌(82)	19

### ■ 撮影者からのコメント

表紙はカイコウズ(海紅豆)と言う花ですが、カイコウズの名はあまり使われず、アメリカデイゴと呼ばれることが多いそうです。

みなさん、この花をご存知でしたか?。私は、因島にあるキャンプ場で初めて出会いました。管理されている方によると花を付けた枝がものすごく重く、少ない年で2回、多い年は3回も花が咲くから手入れがとても大変なのだとか。でも、わんさかと咲いている姿は華やかで、気分は南国リゾート!! 管理されている方に感謝です。

今年も釣船草、彼岸花、紅蕎麦と沢山の「秋の花」と出会う事ができましたが未だ足りません。花も景色も食欲も、もっともっと楽しみたいと思っています。

さあ、リフレッシュ休暇はどこに行きましょうか?

2 A病棟看護師 中島 和枝

読者の皆さまのご意見・ご要望をもとに、より充実した内容の広報誌を目指しています。  
ご意見・ご要望は FAX:084-931-3969 又は E-mail:507-HP@mail.hosp.go.jp までお寄せください。



独立行政法人 国立病院機構  
**福山医療センター**  
National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

〒720-8520 広島県福山市沖野上町4丁目14-17  
TEL(084)922-0001(代) FAX(084)931-3969  
<https://fukuyama.hosp.go.jp/>

